

令和5年度 第1回 横浜能楽堂指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年8月10日（木） 9時30分から11時00分まで
- 2 場 所 横浜能楽堂 2階旧レストランスペース
- 3 出席者 張 櫻馨 委員、諸貫 洋次 委員、横山 太郎 委員、横山 直子 委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事内容

議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 定足数の確認について 2 委員会の公開・非公開について 3 令和4年度業務評価について 4 大規模改修について
議事・ 委員意見 等	<ol style="list-style-type: none"> 1 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。 2 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜能楽堂指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。 3 令和4年度業務評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指定管理者による自己評価 指定管理者から、令和4年度の実績及び自己評価についての説明があった。 (2) 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価の要点について説明があった。 (3) 委員による評価 委員から指定管理者に対する評価内容の説明及び質問を行った。 <p><主な意見及び質疑応答> (以下「・」: 委員、「→」: 指定管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの公演の回数を増やすことはできないか。 →現状では、公演と子ども向けのワークショップ、初級者向けのワークショップ、教育プログラムを実施している。今後休館になるので、公演を増やすというよりはワークショップで市内各所へ出向くことで、子どもが伝統芸能に触れる機会を設けたい。 ・大規模改修後の集客に繋がるような取組は検討されているか。 →一般の能になじみのない方へ向けたプロモーション活動や事業をしていく予定。 ・今後、横浜能楽堂のファン層を拡大するために、ボランティアの方を入れるとよいと思うが、いかがか。 →短期でインターンの受入れは行ったことはある。長期にわたって行うということは

できていないので、休館中に検討してみたい。

・公演が終わった後の解説が面白いが、日本語のみであり、外国人観光客の方々へ伝わっていないように思える。内容が非常に良いので、創意工夫できればと思う。
→解説については、フォローができていないため、今後どのような形でできるかを検討していきたい。

・紅葉ヶ丘まいらんと呼ばれる文化施設の統合的な取組を行っているが、現在の取組について、どの程度実現できていて、課題があるかを伺いたい。例えば、交通アクセスでバスなどのアクセスが可能になればと思うが、その点については、いかがか。
→（事務局）能楽堂の場合、土日の午後2時からという時間帯に集中してお客様を送る必要があるなかで、再館後に向けて実施の可否を指定管理者と研究していく必要性はあると思っている。

・オンラインショップで出品することを検討しているか。
→現時点では、オンラインショップまで対応できるかは判断できない。新しく運営する仮拠点で物販を充実させようと検討しているので、まずは現場で対応してみてもかと思っている。

【評価する点】

・料金収入については目標を達成できなかったものの、件数については、コロナ前とほぼ同数になってきている。積極的な姿勢を評価したい。

・広い層に訴求する取組を実施されている点、また、参加者の満足度からもしっかり機を捉えて来場者の関心を酌んだ事業を実施されているという点評価できる。

・SNSやオンラインなどの情報発信の発信数が多く、業務の負担にならない程度で継続的に実施していただきたい。

・光熱水費の費用が上がっているなかで、人件費や修繕費の抑制をしており、支出をコントロールできているといえる。

【さらなる取組を期待する点】

・ワークショップ（楽器の体験等）について、ニーズがあるようであれば、数を増やしてみるなどを充実させてみてはどうか。
→横浜能楽堂になじみのない方へ向けた事業を現在も行っているが、今後も楽器の取組を広げることができるか検討していきたい。

・普及公演についてはすでに字幕を実施しているということだが、それ以外の公演について、字幕の導入をどのように検討しているか。英語字幕があれば外国人観光客にも分かりやすいのではないか。

→普及公演以外の公演についても検討の余地があるが、公演に集中できないため「やめてほしい」という声もある。紙、タブレット等の手法含め検討しているところである。

4 大規模改修について

(1) 大規模改修の概要について

事務局から、大規模改修の概要についての説明があった。

(2) 休館中の事業の概要について

指定管理者から、休館中の事業の概要について説明があった。

<主な意見及び質疑応答>

(以下「・」: 委員、「→」: 指定管理者)

・ 仮拠点の場所が広くはないので、事業を行うとなると大変そうなイメージがある。いろんな事業を継続して実施ということだが、これから決定するということか。

→ 具体的にどこで行うかは検討中。

・ なるべく早く決めていった方がよいと思う。

→ 仮拠点での活動について、誰に情報を出していくか、ターゲットを決めて、気軽な立ち寄りてもらえるスポットになればいいと思う。

→ みなとみらいは非常によいところなので、仮拠点が埋もれないように入り口に目立つような看板やキャラクターを置いたりして、仮拠点へ誘導できるような仕組みやアプローチをしていけばよいと思う。

6 まとめ

本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。